

# 備後 教区報

181・182 合併号

2023(令和5)年12月1日



ご縁を慶び、お念仏とともに



## CONTENTS

- ◇ 850・800 年慶讃法要  
教区団体参拝  
各組慶讃法要  
(沼隈西組・深津組)
- ◇ 第3回 養成研修会
- ◇ 親鸞聖人讃仰のつどい
- ◇ 平和のつどい
- ◇ 僧侶研修会
- ◇ News & 活用情報  
1月～11月の行事
- ◇ 予報・インフォメーション

# 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年 備後教区慶讃法要行事 盛況に

電話 SEPPO-GCCQ

高等学校 太鼓部・チアリーディング部  
谷高等学校 ナムナムガールズ





# 親鸞聖人御誕生850年 慶讚法要 御満座 立教開宗800年

親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讚法要御満座の消息  
立教開宗八百周年

本年三月二十九日より五期三十日間にわたってお勤めしてまいりました親鸞聖人御誕生八百五十年 慶讚法要は、本日をもってご満座をお迎えいたしました。このたびの五十年に一度のご勝縁に国内外より多くの方々にご参拝いただき、厳肅かつ盛大にご法要をお勤めすることができましたのは、仏祖のお導きはもとより、僧侶・寺族・門信徒など有縁の方々のご懇念のたまものと心より感謝申し上げます。

私たちが浄土真宗のみ教えを確かな依りどころとして生きることができるのは、親鸞聖人が『顕浄土真実教行証文類』（教行信証）を著され、『仏説無量寿経』に説き示される阿弥陀如来の本願名号の真実の教えを明らかにされるとともに、聖人のみ跡を慕う多くの先人方が、み教えに生かされる喜びを今日まで大切に伝えてこられたからに他なりません。

私たちは阿弥陀如来の智慧の光明に包まれ、照らし出されることによって、今まで気づかなかった罪業深重・煩惱具足という自身の姿とともに、如来の広大な恩徳を知らされます。そして、このような私たちが、如来に慈しまれていると同時に私の悲しみを如来の悲しみとして受け入れていただけることを信知することで、自身の悪業煩惱を心から慚愧し、少しでも執われの心を離れなければならないと気づかされます。

それは自分だけの安穩を願うような自己中心的な生き方から、人々の苦悩をともにしていく生き方への転換であり、そこから大智大悲という如来のお徳を真実と仰ぎ、それに沿うよう努める念仏者の生き方が開かれます。そして、その努め励んでいくままが如来のお徳に促され、ご本願に生かされて生きる姿になるのです。

このたびの慶讚法要を機縁として、あらためて「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と願われた親鸞聖人のお言葉を深く心に刻み、これからお念仏を喜び、阿弥陀如来の智慧と慈悲をあらゆる人々に伝えることで、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、さらなる歩みを続けてまいりましょう。

令和五年 五月二十一日  
二〇二三年

龍谷門主 釋 專 如

# 備後教区参拝団一覽 (37団体) 1380名

期	期日	時	一次/二次	参拝団	参拝人数
第1期	3/29 (水)	午前	一次受付	深津組	59名
			一次受付	比婆組	80名
			一次受付	三次組3班	24名
		午後	二次受付	御調西組光徳寺	23名
	3/30 (木)	午後	一次受付	備中里組3班(C)	25名
			一次受付	沼隈西組1班	56名
			一次受付	神石組	55名
	3/31 (金)	午後	二次受付	御調西組梅林寺	29名
4/3 (月)	午前	二次受付	沼隈南組南泉坊	30名	
第2期	4/11 (火)	午前	一次受付	備中里組1班(A)	23名
			一次受付	備中里組4班(D)	22名
			一次受付	鴨川北組	44名
			一次受付	沼隈西組2班	46名
			一次受付	三次組1班	40名
	4/13 (木)	午前	一次受付	奥組	51名
			一次受付	三谿組	38名
			一次受付	三次組2班	61名
第3期	4/24 (月)	午後	一次受付	三次組4班	16名
			一次受付	御調東組1班	40名
			一次受付	世羅組	87名
	4/25 (火)	午前	二次受付	備中里組正専寺	30名
			二次受付	沼隈西組寺族婦人会	13名
		午後	二次受付	芦田組寺族婦人会	7名
	4/26 (水)	午後	一次受付	沼隈南組	40名
一次受付			御調西組	81名	
第4期	5/9 (火)	午前	一次受付	備中里組2班(B)	20名
			一次受付	芦田組	77名
			一次受付	三次組6班	4名
			一次受付	御調東組2班	36名
	5/10 (水)	午前	二次受付	三谿組明覚寺	15名
	5/11 (木)	午後	二次受付	沼隈西組法蔵坊	25名
二次受付			備龍会	19名	
第5期	5/17 (水)	午前	一次受付	中組	42名
			一次受付	鴨川組	55名
			一次受付	三次組5班	16名
			一次受付	御調東組3班	36名
			二次受付	深津組寺族婦人会	15名



3月29日より勤修された親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、聖人の850回目の誕生日にあたる5月21日、5期30日間のご満座を迎えた。期間中は法要参拝、並びに関連行事参加も含め約75000名が本願寺に参拝し、備後教区からは、37参拝団(一次・二次受付)、1380名が参拝した。



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を機縁として、組においても慶讃法要が厳修されている。教区内で最初に厳修された沼隈西組、深津組の法要を紹介する。

後半には、アトラクションとしてオペラコンサートが行われ、なじみのある仏教讃歌をはじめ、今回の法要のテーマソングである「みんな花になれ」が披露

沼隈西組(赤柴証悟組長)では「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要並びに組仏教婦人会連盟40周年記念大会」を令和5年1月28日(土)、しまなみ交流館(尾道市)にて開催した。法要は、法中方が習礼を重ねてきた「新制 御本典作法」を依用し、厳粛なムードで勤修された。

続く記念法話では「伝道集団アサカラザル」が漫才をまじえた法話でお取次ぎした。



され、優雅な歌声に一同聞き入った。この慶讃法要では、先人たちから受け継がれてきたみ教えを次世代につなげていく機縁にしたいという願いで、サブテーマを「とぎれることのないご縁を求めて」とし、組内若手僧侶が中心となり、仏婦と連携して幅広年代の人が参加できるよう呼びかけた。

若い世代の参加は思うように進まなかったが、参加者からは「参加してよかった」「有意義なひと時を過ごせた」などの声が寄せられた。



深津組(松井一昭組長)主催の「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年お待ち受け法要」が、令和5年2月26日(日)に光善寺(苅谷友之住職)にて勤まった。法要は新しく制定された新制御本典作法を勤めた。この度は「組内の若手僧侶・女性僧侶にて法要を勤めよう」という趣旨のもと、それに賛同する若手僧侶、女性僧侶が正装第一種にて光善寺内陣に出動した。大きな法要で結果を勤めたことは、初めての経験であったが、この日の為に何度も習礼を重ね、当日はとても厳かな法要となった。記念法話のご講師は、本願寺派司教で龍谷大学教授の武田晋和上が務めた。

「立教開宗をめぐって」という講題のもと、歴史的な観点からの宗祖の歩みと共に、南無阿彌陀仏の御法義を丁寧にお取次ぎされた。お聴聞なされたお同行様は「分かりやすくお話くださった」「和上様のお声がとても良かった」と喜んでおられた。

この度の法要は新型コロナウイルス感染予防対策をとり「参拝者数100名の制限」「マスク着用」での開催となった。午前中のみ開催とし、昼食については各寺院に任せ、会場では弁当の配布などは行わなかった。組内寺院の崇興寺では、10名の御門徒が法要に参拝し、その後近くのイタリアンレストランに移動し、昼食をとった。法要とその後ランチ、どちらも好評であり「またこんな形で法要に参りたいですね!」という喜びの声もあった。



各組850・800慶讃法要の様子



比婆組



神石組

組	期日	会場	行事	講師名
沼隈西組	1/28	(尾道市) しまなみ交流館	記念法話	アサカラザル
			オペラコンサート	
深津組	2/26	(福山市) 深津組 光善寺	記念法話	(龍谷大学教授) 武田 晋 和上
神石組	5/13	(神石高原町) 神石組 光徳寺	節談説教	(興正寺派正行寺) 赤松 円心 師
比婆組	5/13	(庄原市) ジョイフル2階 プリンセスガーデン	「仏教から生きるヒントを見つける日」 ・音楽法要 ・市民パフォーマンス	
			記念対談	(上方落語家) 桂南光師匠 (相愛大学学長) 釈徹宗師
	5/14	比婆組 西楽寺	・慶讃法要 ・帰敬式	
鴨川北組	6/7	(福山市) 鴨川北組 照専寺	記念法話	(本願寺派布教使) 佐々木 至成 師
三次組	5/27	三次組 法正寺	・帰敬式	
	6/16	(三次市) 三次まちづくりセンター ペペラ	・仏教讃歌 (三次組仏婦連合会コーラス) ・動画上映 (親鸞聖人御誕生 850年立教開宗 800年を迎えて)	
			節談説教	米田 順昭 師
三谿組	10/8	(三次市) 三次まちづくりセンター ペペラ	「三谿組の未来をみつめて」	
			記念法話 シンポジウム	(相愛大学学長) 釈徹宗師 「三谿組の未来をみつめて」

今後の予定

- ・ 芦田組 2023年11月25日 府中市文化ホール
- ・ 備中里組 2024年5月24日
- ・ 世羅組 & 御調東組 & 御調西組  
2024年6月1日 (3組合同)
- ・ 鴨川組 2024年6月9日
- ・ 奥組 2024年度内
- ・ 中組 2024年度内
- ・ 沼隈南組 2024年度内



鴨川北組

三次組



三谿組



# 新しい時代の念仏者養成のための人権に関する連続研修 —御同朋の社会をめざして—【差別やいじめのない社会に】(養成研) 第3回

2月16日、(備後教区 新しい時代の念仏者養成のための)人権に関する連続研修—御同朋の社会をめざして—【差別やいじめのない社会に】(以下養成研) 第3回を開催した。

このたびの講師には、本多彩先生(兵庫大学准教授・大阪教区河中南組恵光寺)と石川直子先生(NPO法人性同一性障害まリアの会代表)をお招きし、「性と人権を考える 性 マイノリティー 人権」をテーマに講義と体験報告を頂いた。

(文責 同朋社会部会部員)

第3回の人権に関する連続研修は、あからさまな差に驚くと共に、住職が男性、坊守は女性の役割でしょう、と疑いを持ちえない状況を実感できる数字の提示から始まりました。本願寺手帳によると、2022年4月時点で住職は全国に8948人、そのうち男性は8538人、備後教区においては住職が229人、そのうち男性が218人とのことです。

女性住職は全国でも備後教区でも5%に満たない人数でした。

もしかするとお坊さんと耳にして一般的に思い描くのは、男性と



▶本多彩先生 兵庫大学准教授  
大阪教区河中南組恵光寺

というのが今の社会でのイメージかもしれませんが。しかし本願寺派僧侶の人数だけをみれば、男女差はほとんどないのが実情です。

ジェンダーとは、社会・文化的な役割や規範としての「性別」で、社会的に作られた「性」のことだと説明がありました。周囲を見渡すと、まさに社会的な役割として電話の対応をし、茶菓などの接遇を行うのは主に女性であり、寺院においてははその役割を坊守が担い、住職の妻が務めることにあまり疑問に感じない日常が存在するように感じます。

講師の本多先生は、長女であるご自身の経験から、同じように僧侶である弟さん二人が寺院の跡継ぎとして周囲から期待され、後継の候補に挙がらない自分と、疑問を持つことなく後継の役割を担っていくお二人の姿とに複雑な思いを持たれたそうです。

アメリカの浄土真宗仏教会では

現在、北米開教区の責任者を女性が務められていて、また坊守の役割が固定化されていないそうです。

その理由の一つには、仏教会の責任者が世襲制ではないことがあります。そして、かつては日系移民の1世2世が主要なメンバーであった時には、日本の社会的文化的な家父長制度がそのまま持ち込まれていたものの、時を経て今や4世5世が中心となっているので、ジェンダー観が変化していることも大きいとお話しされました。

男だから女だから、という無意識の区分けや、どちらがより大変なのかといった視点ではなく、誰もが分け隔てなく幸せになれる社会を目指すために、意識して相手の立場に立つて考えること、当たり前と思っていることを疑ってみることなど、改めて我が身を省みる研修でした。

# 涙

## 講演中に 終始流される

から伝わったのは  
本人だけでなく周りの  
方々も傷つけ苦しめること  
は  
LGBTQ差別は



▲ 石川直子先生  
NPO法人 性同一性障害まりあの会代表

「性同一性障害まりあの会」の代表へ石川直子さんの講演で最も印象に残ったのは、石川さんが講演中に終始流される涙でした。性同一性障害の子の親として、子であるまりあさんのことを、終始泣きながら語られるのです。その涙から伝わってきたのは、LGBTQ差別は、本人だけではなく、その周りの方々をも傷つけ苦しめていることです。

涙にも様々な涙があります。悲しみの涙、嬉し涙、笑いの涙、悔し涙……涙は涙でも、性質が違います。また、人間の身体も女性の身体で生まれても、テストステロン(男性ホルモン)を注射し、一定程度取り入れれば筋肉が増強するなど男性としての特徴が表れますし、男性の身体で生まれても、エストロゲン(女性ホルモン)を取り入れれば女性としての特徴が

表れます。暗い顔をしていた人が、素敵な出会いによって明るい顔に変わったりするように、環境や人間関係、経験によって、性格も変わったりします。つまり「縁」によって、「性別」「性質」「人格」等、「性」は変化する可能性があり、仏教の無我、因縁生起の教えにあるように、性も例外ではなく、性も因縁によって生まれ滅するのであり、性も絶対的なものではないということです。それなのに私達は、正しいものの見方ができず、性を絶対視したり、固定的にとらえ、執られるべきではないのに、執着し苦しんでいます。

私達は過去世で因縁によって、男性だったり、女性だったり、また、ストレート(異性愛者)ではなく、LGBTQの立場だったかもしれません。「自分がされたくないことはしてはいけない、させ

てはいけない」は十悪(殺生、偷盗、邪淫、妄語 etc……)に通底する仏のまなざしです。誰も差別されたくはありません。差別は無知(無明)から生まれ、無知は苦悩の根本原因です。阿弥陀さまは差別をされません。無明煩惱を滅した仏は智慧と慈悲の心に基つき差別行為を否定されます。日本は18歳以上の同性婚を未だ認めていません。同性愛者は異性愛者と同じ税金を納めているのに、パートナーの相続権がない、相手の連れ子の親権を持たない等、結婚したくても結婚を認められていないのです。阿弥陀仏の本願に生きる私達は、社会や日常生活や様々な場面で、お互いに与えられた一人一人の性を尊重しあい、性差別や、あらゆる差別を撲滅していく努力を惜しんではならないと思います。

浄土真宗本願寺派備後教区・本願寺備後教堂「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」記念協賛行事  
親鸞聖人讃仰のつどい  
もっと身近に仏教を！～人間に生まれてよかった“いのち”の誕生～

出演者  
漫才法話  
Seppo-CCQ

出演者  
岡山県立岡山高等学校 太鼓部・チアリーディング部  
東九龍谷高等学校 ナムナムガールズ

# 親鸞聖人讃仰のつどい

## もっと身近に仏教を！ ～人間に生まれてよかった“いのち”の誕生～



### 若い世代への仏縁を願って

9月15日(金)～16日(土)の2日間、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年を記念した備後教区・本願寺備後教堂の慶讃法要並びに協賛行事を開催した。

1日目となる15日は、本願寺備後教堂において「新制御本典作法」を依用した慶讃法要を勤修した。

記念布教は、宮部雅文特命布教使よりご法話をいただき、その後、帰敬式を実施、39名が受式した。

2日目となる16日は、ふくやま芸術文化ホールリーデンドーズ大ホールにて、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念協賛行事「親鸞聖人讃仰のつどい」を開催し、およそ670名に会場いただいた。

オープニングは手作りの蓮の花を模った灯明を神辺千鶴幼稚園・かやのみ幼稚園の園児と、岡山龍谷高校・



蒼明学院中等部の生徒が尊前にお供えし、岡崎秀恵教務所長・教堂主管導師のもと、出勤法中、奏楽員、参加者とともに「新制御本典作法」をお勤めした。



高校生だけでなく備後教区内の多くの寺院スタッフが携わった

記念行事の一部では、高校生出演行事として、岡山龍谷高校の太鼓部、チアリーディング部や、東九州龍谷高校の聖歌隊として活動するナムナムガールズに出演していただいた。記念行事の二部では、熊本県の本派寺院住職による漫才法話コンビ「Seppo-CCQ」に出演いただき、漫才の披露の後、ご法話をいただいた。



⑤ 那須弘紹 住職  
⑥ 藤岡教顕 住職

この度は、これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々へ、仏教を身近なものとして感じていただくとともに、将来の仏縁へと広がる法要行事とすることをコンセプトに、法要においては帰敬式受式者に雅楽とともに伝統的な声明を用いた厳かな法要に参拝いただいた。協賛行事においては、企画から運営まで宗門校である岡山龍谷高校の学生と共に行うことで、若い世代への仏縁へと広がることを願う新たな試みであった。

# 第27回平和のつどい 全戦争犠牲者追悼法要

10月3日(火)、御調東組・御調西組・世羅組の担当にて「第27回備後教区平和のつどい」をせら文化センター・パストラルホールにおいて開催、302名の僧侶・門信徒の参加があった。

はじめに全戦争犠牲者追悼法要を岡寄秀恵教務所長御導師にて勤修。担当組出勤法中や参拝者ともどもに「正信念仏偈作法第一種」をお勤めした。

今年「『はだしのゲン』」今こそ、あなたの心にはだしのゲンをー」という題にて講談師の神田香織師匠より講談をいただいた。

講談後は、備後教区布教団員の真澄慎一住職(世羅組善行寺)より、内容の振り返りと法話をいただいで全日程を終了した。

講談師 神田香織 師匠



## はだしのゲン —今こそあなたの心にはだしのゲンを—



(今年の内容について)

「はだしのゲン」は作者の中沢啓治さんが6歳で被爆し、父や姉、弟を失った体験にもとづいて描かれた漫画で、子どもにも大人にも広く「被爆の実相」を伝えてきた。そして今では24カ国語に翻訳され読まれている。

今年、広島市は市の平和教材から「はだしのゲン」を削除した。しかし漫画の売り上げは15倍になったと地元の新聞は報じている。「はだしのゲン」は、映画、アニメにもなり、演劇等でも演じられてきたが、今回は講談による「はだしのゲン」を聞き、ともに非戦争平和について考えたいという試みである。

つどいに参加した人からは「講談を観るのは初めてで感動した」という方も多く、「アツという間に、その世界観に惹き込まれた」「迫力があり、戦争の悲惨さを肌で感じた」等々の感想が聞かれ、盛況のうちに幕を閉じた。

また来場者数も多く、会場前の関係パネル展も賑わった。

### 広報伝道部会

### 真宗講座

本願寺備後教堂において開催されている真宗講座も今年で第33回を重ねることとなった。

もともとは安居の内容、安心論題を教区においても学ばせていただくことから始まった講座だが、当初からの講座専任講師である安方哲爾先生(大阪教区南郡組正満寺)より、ここ2・3年は立教開宗800年を迎えるということもあつて親鸞聖人が生涯かけて執筆された根本経典である『顕浄土真実教行証文類(教行信証)』を順に紐解く御本典講義をいただいで講座内容としている。

『教行信証』の草稿本ができたのが元仁元年(1224)とされ、真宗教団連合は教行信証の成立をもつて立教開宗としています

今年度の講座は『教行信証』信巻をテーマとして第32回を7月24日、第33回は9月5日に開催。第34回の真宗講座は、令和6年2月6日(火)の予定となっている。

# 僧侶研修会

2月21日(火)、御調東組照源寺(久本晃道住職)を会場に、僧侶研修会が開催された。本願寺司教・内藤昭文和上をお迎えし、「凡夫として生きる―仏教徒・念仏者の姿―」をテーマにお話しいただいた。(文責 教区報専門委員)



## 凡夫として生きる 仏教徒・念仏者の姿



▲内藤昭文 和上

司教と言う方は、総じて学者肌で物静かなイメージを勝手に抱いていた私は、少なからず驚いた。初めてお聞きする内藤和上のお話ぶりは、正に熱弁を振るうものだった。一方的な押しつけではなく、話し手と聞き手の相互の意思疎通と教義理解を確認しながらの熱気のこもったやり取りだった。和上が龍谷大学で「真宗学」ではなく、「仏教学」専攻だったと言ふ事も、最初は意外に感じたが、和上若かりし頃、桐溪順忍先生との出会いとお勧めがあったとお聞きして、やはり仏教には不思議なご縁、良き師との出会いが大切だと感じた。先ず、和上は私達に「仏教徒とは何か？」と問いかけられて、親鸞聖人の「非僧非俗」の歩みとは、「非俗……仏道を否定するものではない」

「非僧……具足戒を受け守るものではない。」とその立ち位置を示された。

続いて、宗祖の「愚禿釋親鸞」のお名乗りについて言及され、特にその謂われとも推察される、天親(世親)菩薩と曇鸞大師についてお話された。その内容に関しては今回割愛するが、講義の根底には常に如来の「智慧と慈悲はべつものではなく常に表裏一体でおはたらきくださっている」と示された。「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の慶讃法要が勤修される本年、私は聖人をお祈りするのは間違いだと思ふ。なぜなら、親鸞さまは『凡夫のまま、往生の素懷を遂げられた』その点において、我らが宗祖は誠に尊い方であった」という和上の締めくくりのお言葉が響いて、宗祖の存在が更に身近に、そして頼もしく感じられた内藤和上のご講義であった。

### 備後教区 常例法座

4月 「名号不思議の海水」  
世羅町 正満寺 島津恵航

5月 「大悲無倦常照我」  
世羅町 真行寺 是山宗憲

6月 「いちばん素直に  
なれる場所」  
三原市 浄楽寺 栗原一乗

7月 「仏教を時代の  
道標として味わう」  
三次市 善徳寺 長谷川憲章

8月 「みほとけにいだかれて」  
尾道市 金剛寺 金岡恒宣

9月 「念仏者の生き方」  
福山市 照尊寺 佐々木弘海

10月 「いのちのゆくえ」  
福山市 西光寺 箱田義信

11月 「病苦の教えより見る  
『後生の一大事』」  
府中市 専教寺 鎌倉義雄

毎月11日に備後教区にて開かれる常例法座。現在は各組仏婦の清掃奉仕も再開されている。今年度開催済の講師名については右記のとおり(敬称略)。

# News & 活動情報



▲武田正文先生

## 布教団

### 実践運動・部門別研修

2月27日(月)、備後教区布教団実践運動研修会・部門別研修会・臨時総会を開催した。実践運動研修会では、武田正文先生(山陰教区邑智東組高善寺)より「オンライン伝道の可能性と課題—YouTubeから見えてきたもの—」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の拡大によって加速した社会の変化を踏まえて講義をいただいた。



続く部門別研修会では岡村喜史先生(本願寺史料研究所上級研究員)より「親鸞聖人ご誕生の時代と立教開宗の意義」の講義を頂き、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を宗門でお迎えするにあたり、参加者一人ひとりが、機運を高める研修会となった。

## 門信徒部会

### 門信徒のつどい

3月1日(水)、「門信徒のつどい【教化団体連絡協議会】」を開催した。各教化団体正副代表、並びに門信徒部会部員を対象とし15名が参加した。教区内教化団体のつながりを深め、団体同士の協力体制を構築していくことを目的とするなかで、各団体が抱える悩みを共有し、今後の更なる活動活性化に向けて何ができるのか意見交換を行った。

## 同朋社会部会

### 自死を考える学習会

3月3日(金)、同朋社会部会主催「自死を考える学習会」を開催した。講師に、細川潔弁護士・佐々木央先生(一般社団法人共同通信社記者)、そして田中幸子先生(一般社団法人全国自死遺族連絡会代表理事)をお迎えし、自死についてそれぞれの視点から講義とお話をいただき、参加者は学びを深める学習会となった。

## 同朋社会部会

### ハンセン病現地学習会



3月6日(月)、岡山県邑久町の長島愛生園を訪ね、ハンセン病現地学習会を開催した。

午前中、歴史館見学と園内の方より説明を受けた。午後からは、同朋社会部会部員による解説「ハンセン病の隔離はなぜ強化されたのか」を中心に講義があり、ハンセン病の歴史を通じて、人権を考える学習会となった。



## 教区月報

1月～2月

### 1月 (January)

- 11日 教堂常例法座
- 13日 門徒推進員世話人会
- 17日 布教団团长・副团长会議
- 18日 第5ブロック保育連盟連絡協議会
- 18日 おつとめ教室・勤式練習会
- 19日 法式法務専門委員会 動画撮影

- 20日 寺院サポート講座(WEB)
- 23日 同朋社会部会
- 23日 憲法を考える研究会
- 24日 門信徒部会
- 25日 事業検討委員会
- 25日 慶讃法要常任委員会
- 26日 布教団役員会
- 27日 広報伝道部会
- 28日 仏壮セミナー(安芸教区)

- 30日 子ども若者ご縁づくり
- 30日 サポーター協議会
- 30日 少年連盟役員会
- 31日 参与会

### 2月 (February)

- 1日 第31回真宗講座
- 2日 第4連区実践運動研修会(安芸教区)(3日)

**勤式 講習会・得度考査**

3月8日(水)～9日(木)、  
備後教区得度講習会、翌10日(金)  
得度考査を開催した。

講習会では、『僧侶教A』を活  
用した講義を岡寄秀恵備後教区教  
務所長よりいただいた。

また、和泉裕生教区勤式指導  
員・藤田徹信教区勤式指導員補佐  
から、正信念仏偈の実唱や御文章  
拝読、勤式作法について二日間に  
わたり講義と習礼をいただいた。

得度講習会は、時間に限りがあ  
るため、受講希望者は事前学習と  
して『僧侶教本A』の熟読と得度  
習礼用CDを活用いただくことが  
望まれる。

**門徒推進員  
連絡協議会研修会**

3月11日(土)、備後教区門徒  
推進員連絡協議会研修会が開催さ  
れた。研修会は、教堂常例法座講  
師の伊川大慶先生(三次組西覺寺)  
の法話を午前・午後と聴聞させて  
頂き、法座終了後、門徒推進員が  
集い日頃の思いや悩み、今後の展  
望について語り合う会となった。

**仏壯連盟総会**

4月9日(日)、  
仏教壮年会連盟総  
会・研修会を開催し  
39名が参加。研修会  
には本願寺派布教使  
那須英信先生(沼隈南組善正寺)  
にお越しいただき、講題『新しい  
「領解文」(浄土真宗のみ教え)に  
ついて』にてお話しいただいた。

**仏婦  
総会・幹部研修会**

4月13日(木)、福山芸術文化ホール  
リーデンドローズ小ホールにて、仏教婦人  
会連盟総会・幹部研修会を催し、201名が参加。  
研修会には仏婦総連盟講師の小池秀章先生(山口教  
区山口南組教證寺)にお越しいただき、『浄土真宗と  
はー浄土に往生することを目指す真実の宗教・浄土か  
ら出てきた真実の宗教』にてお話しいただいた。

**寺婦  
寺婦若婦研修会**

4月17日(月)、三谿組善徳寺(長  
谷川憲章住職)を会場に寺族婦人会  
連盟若婦人研修会を開催し33名が参  
加。研修では大阪大学教授・太刀掛  
俊之先生、広島文教大学非常勤講師・  
深水顕真先生(三次組専正寺)のお  
二人にお越しいただき、カルトにつ  
いての学びを深めた。

**特別布教大会**

**布教団**

3月16日(木)、備中里組浄心寺(津  
田明雅住職)のご理解とご協力のもと、  
備後教区布教団特別布教大会を開催さ  
せて頂いた。会所春季彼岸会・永代経  
のご縁に併せた布教大会で、第一席  
目島津恵航団員(世羅組正満寺)、第  
二席目亀山照枝団員(芦田組西法寺)、  
第三席目に田井智彦副団長(備中里組  
蓮乗寺)よりお取次ぎいただき、会所  
お同行と共々にお念仏のみ教えを聴聞  
させていただきご縁となった。

**教区月報 2月～5月**

8日	ビハーラ役員会	27日	常備会
9日	矯正教化広島管区支部研修 会(山口別院)(～10日)	24日	布教団部門別・実践運動 研修会 臨時総会
11日	教堂常例法座	21日	僧侶研修会
13日	仏婦役員会	19日	第4連区門推実践運動研修 会(安芸教区)(～20日)
13日	寺婦役員研修・役員会 組長会	16日	第3回養成研
11日	教堂常例法座	15日	おつとめ教室・勤式練習会
9日	矯正教化広島管区支部研修 会(山口別院)(～10日)	13日	仏婦役員会
8日	得度講習会(～9日)	11日	おつとめ教室・勤式練習会
7日	第4連区教化連絡協議会	9日	矯正教化広島管区支部研修 会(山口別院)(～10日)
6日	ハンセン病現地学習会	6日	保育連盟全体協議会
6日	保育連盟全体協議会	3日	同朋社会部会
3日	同朋社会部会	1日	門推世話人会
1日	門推世話人会	1日	門信徒のつどい
3月(March)			

# 青少年教化推進者のつどい

子ども若者ご縁づくり



3月29日(水)、少年連盟・子ども若者ご縁づくり推進室の協力のもと青少年教化活動に携わる指導者を対象とした標記つどいが京都本願寺並びに龍谷平安高校を会場に開催され、備後教区から21名が参加した。御影堂にて本山慶讃法要(初日)に参拝後、第一部のつどいとして平安高校講堂にて石上智康総長(当時)の挨拶、レモンさん(山本シユウ)の記念講演を聞いた。第二部はリーガロイヤルホテル京都にて交流会を行い、全国からの参加者たちや講師を交えた情報交換や共有を行い、学びを深めた。

## 全国真宗青年のつどい

4月15日(土)、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年を記念した「全国真宗青年のつどい」が京都本願寺にて開催され、備後教区より18名が参加した。慶讃法要に参拝の後は、大宮学舎に移り選択制のプログラム、夜は全国の会員と交流親睦を深めるレセプションに参加した。



仏青



## 仏壯 仏壯全国大会

4月15日(土)～16日(日)の2日間、京都本願寺で開催された親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念第24回全国仏教壮年大会に備後教区より41名が参加した。



## 世界仏婦大会

5月11日(木)～12日(金)、国立京都国際会館で開催された第17回世界仏教婦人会大会に備後教区より仏婦会員46名が参加した。大会では、森田真円和上の特別講演や分科会などがあり、世界・全国各地の仏婦会員との交流を深めた。

仏婦

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| <p>11日 世界仏婦大会(～12日) 教堂常例法座</p> <p>11日 世界仏婦大会(～12日) 教堂常例法座</p> | <p>28日 ビハーラ備後役員会</p> <p>21日 布教団会議</p> <p>21日 仏婦総連盟総会(WEB)</p> <p>20日 備龍会50周年記念大会</p> <p>17日 門推世話人会</p> <p>17日 寺婦連盟若婦人研修会</p> <p>15日 仏壯全国大会(～16日)</p> <p>15日 仏青全国大会</p> <p>14日 おつとめ教室・勤式練習会</p> <p>13日 仏婦総会・幹部研修会 (福山リーデンローズ)</p> | <p>4月 (April)</p> <p>9日 仏壯総会</p> <p>11日 教堂常例法座</p> <p>13日 仏婦総会・幹部研修会</p> | <p>29日 本山慶讃法要(初日)</p> <p>29日 全国青少年推進者のつどい</p> <p>27日 後期勤式研修会</p> <p>25日 教堂参与総会</p> <p>24日 教堂参与幹事会・聞法会</p> <p>22日 少年役員会</p> <p>17日 教区会</p> <p>16日 布教団 特別布教大会 (備中里組 浄心寺)</p> <p>15日 おつとめ教室・勤式練習会</p> <p>15日 教堂責役・総代会</p> |
|---|--|--|--|

## 実践運動総会・事業推進委員全体会



### 実践運動

6月7日(水)、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)教区委員会総会・教区事業推進委員会全体会並びに研修会を開催した。総会全体会では、前年度の報告の後、第4期最終年度となる本年度の事業推進について協議した。研修会では、武田正文先生(山陰教区邑智東組高善寺)にお越しいただき「お寺でのSNS活用のメリットとデメリット」初心者におススメの使い方」についてお話しいただいた。

### ビハーク 総会公開講座

6月9日(金)、本願寺備後教堂にてビハーク備後総会・公開講座を開催し、17名が参加した。



公開講座には本願寺派布教使 浅野執持先生(四州教区今治組万福寺)にお越しいただき「死を語り合う場の必要性」と題し、ご著書の絵本を通してお話しいただいた。

### 寺婦 寺婦連盟総会

6月14日(水)、寺婦連盟総会研修会を開催し、58名が参加した。研修会では、菅原昭生先生(山陰教区大田西組西楽寺)にお越しいただき、講題「過疎地寺院のアガキとモガキ」にてお話しいただいた。



## 総会 研修会 慶讃法要記念 夏期布教大会



### 布教団

6月20日(火)～21日(水)、布教団総会・研修会、並びに親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念夏期布教大会を開催した。20日の研修会には本願寺派司教・安藤光慈和上(宮崎教区宮崎組真光寺)より講義をいただいた。翌21日の布教大会は左記布教団員に出講いただいた。

- 朝1席目 鎌倉義雄団員
- 朝2席目 三條義見団員
- 朝3席目 安藤光慈和上(本講師)
- 昼1席目 山下瑞円団員
- 昼2席目 平山智正副団長
- 昼3席目 安藤光慈和上(本講師)

## 教区月報 5月～8月

- 12日 おつとめ教室・勤式練習会
- 16日 保育連盟全体会総会
- 21日 本山慶讃法要・ご満座
- 22日 寺婦連盟役員会
- 24日 門推世話人会
- 24日 少年連盟役員会
- 24日 ご縁づくり委員会
- 25日 布教団役員会
- 29日 布教団臨時総会
- 31日 法要常任委員会

### 6月(June)

- 1日 少年連盟ブロック連絡協議会
- 7日 実践運動総会・全体会
- 8日 更生保護備後支部理事会総会
- 9日 ビハーク役員・総会公開講座
- 11日 教堂常例法座
- 12日 矯正教化連盟広島管区支部総会
- 13日 教堂責役総代会
- 14日 寺婦総会・研修会
- 16日 おつとめ教室・勤式練習会
- 19日 仏婦連盟役員会
- 20日 布教団総会・研修会
- 21日 布教団夏期布教大会
- 22日 門推のつどい
- 22日 法要行事部会

**同朋社会部会 養成研**

7月7日(金)、人権に関する連続研修(養成研)第4回を開催し、13名が参加した。

今回は「感染症と人権・ハンセン病問題・エイズ問題・コロナ問題」をテーマに 棚原正智先生(兵庫教区神姫組光輪寺)より講義をいただいた。



※詳細報告については次号にて

**公聴会**

**WEBで公聴会**

7月20日(木)、備後教区において、「新たにめざす持続可能な宗務組織を構築するための具体策」の進捗状況や今後の方向性、及び次期「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画・重点プロジェクトの策定にあたっての現状報告、並びに宗門財政構想委員会から提出された「賦課基準の見直しについて(第3次答申)」の内容について説明を行い、広く意見提言を伺う公聴会がオンラインにて開催された。

**仏壯 仏壮夏期研修会**

7月30日(日)、仏壮夏期研修会を御調西組法泉寺(小島芳照住職)を会所に開催し、84名が参加した。

ご講師に本願寺 派布教使・佐藤知水先生(中組光栄寺)をお招きし、「南無阿弥陀仏に出遇う人生」にてお話しいただいた。



**備後教区**

**寺号公称50年**



8月23日(水)、昨年新型コロナウイルス感染症拡大により延期していた本願寺備後教区寺号公称50年記念レセプションを福山ニューキャッスルホテルにて開催した。教区内僧侶、門信徒をはじめ、歴代教務所長・主管にもご出席いただき、50年の歩みや記念法要の様子を振り返りながら懇親の場をもった。

**教区代表 連区協議会**

8月25日(金)、第4連区教区会議長・教務所長・組長代表協議会を備後教区担当にて開催した。協議会では、各教区の事業推進状況等の情報交換を行うとともに、全国議長会への提案事項について協議された。

**保育**

**まことの保育研修**

8月26日(土)、まことの保育加盟幼稚園・保育園の教職員を対象とした研修会を開催し、14名が参加。

本願寺派布教使・伊川大慶先生(三次組西覚寺)よりご法話をいただいた後、グループに分かれて話し合いを実施、日常の保育についてや仏教について参加者それぞれの思いを共有した。



29日 連区布教使研修会(30日迄)

**7月 (July)**

4日 門徒推進員のつどい  
5日 組長会  
5日 法要委員会

7日 同朋社会部会・養成研  
10日 平和のつどい実行委員会  
11日 教堂常例法座

14日 おつとめ教室・勤式練習会  
18日 少年連盟総会  
20日 公聴会

21日 仏婦会員研修会  
24日 第32回真宗講座  
25日 門信徒部会

30日 仏壮連盟夏季研修会

**8月 (June)**

11日 教堂常例法座

12日 16日 教務所教堂休館

23日 教堂50年記念レセプション

24日 法要委員会スタッフ会議

25日 第4連区教区会議長・教務所長・組長・代表協議会

26日 まことの保育研修会

28日 布教団研修旅行(29日)

31日 仏青教化指導員研修会

**同朋社会部会 同朋講座**

9月2日(土)、同朋講座を開催し、23名が参加した。精神科医・野田正彰先生にお越しいただき、講題「旧統一教会問題と仏教」にてお話しいただいた。



**ビハークラ**

**ビハークラ備後研修協議会**

9月7日(木)、ビハークラ備後研修協議会を開催し、14名が参加した。

「いのちを見つめるビハークラ」というテーマのもと、徳永道隆先生(安芸教区佐伯東組延命寺)よりお話しいただいた。

**門徒推進員 連区実践運動研修**

9月10日(日)から11日(月)の2日間、山口教区担当にて開催された第4連区門徒推進員実践運動研修会に備後教区より11名が参加した。

研修会では、宮本義宣先生(東京教区神奈川組高願寺)よりの問題提起の後、班ごと話し合い法座を実施した。



▲講師を囲み、ビハークラ協議会

山口教区の引き受けにて門推研修会▶

▼明覚寺は国の登録有形文化財に指定される見通し



**布教団**

**特別布教大会**

9月19日(火)、三谿組明覚寺(不二川公哉住職)・秋季彼岸会に併修のもと、布教団特別布教大会を開催した。

出講者は次のとおり。

- 朝1席 枝廣大智団員
- 朝2席 箱田義信団員
- 朝3席 藤井義英団員
- 昼1席 石川知全団員
- 昼2席 佐々木弘海団員
- 昼3席 安部恵証副団長

**教区月報 9月～11月**

**6月 (September)**

- 2日 同朋講座
- 5日 第33回真宗講座
- 6日 平和のつどい実行委員会
- 7日 ビハークラのつどい
- 8日 おつとめ教室・勤式練習会
- 9日 協賛行事準備
- 10日 第4連区門推実践運動研修会(～11日)
- 11日 教堂常例法座
- 15日 教区教堂慶讃法要・帰敬式
- 16日 教区教堂法要・慶讃行事
- 19日 布教団 特別布教大会(三谿組 明覚寺)
- 25日 常備会
- 28日 第4連区青年布教使研修会(～29日)

**10月 (October)**

- 1日 環境問題現地学習会
- 3日 第27回平和のつどい
- 4日 寺婦研修旅行(～5日)
- 7日 仏教壮年会第4連区協議会(～8日)
- 10日 組長会
- 10日 教区教堂慶讃法要委員会
- 11日 教堂常例法座
- 12日 臨時教区会





### 50周年記念大会 (4/20) ニューキャッスルホテル



# 備龍会



#### 会長挨拶

この度、備龍会第26代会長を拝命いたしました。沼隈西組正圓寺の石川知全です。

本年、備龍会は結成50周年を迎えました。半世紀の節目の年、盛大に對外的な催し物を、という思いもありましたが、コロナ禍中、先の見通しの立たない中での企画ということもあり、この度はOB会員の皆様にご来席いただき、結成50周年記念並びに物故者追悼法要を親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要と併修する形で勤修し、記念事業といたしまして『お聴聞手帖』を発刊、当会50年の足跡をまとめ、『50周年記念誌』を作成しました。

改めて当会50年の歴史を紐解いてみますと、その活動は教区・宗派行事への協力はもとより、伝道活動、社会貢献など、教区はおろか、宗派の枠を超え、多岐に渡るものであることが伺えます。諸先輩方が時代に呼応し、叡智を集結し、眼前の課題に対して向き合ってこられた証であるろうと拝察致します。現在、聞こえてくる社会情勢は決して明るいとは言えないものばかりであります。そのような中だからこそ求められること、必要なことに目を向け、青年僧侶ならではの発想と行動力を生かし、当会発足理念に基づき、親睦交流を深めながら相互発展となるべく、活動して参りたいと存じます。重責を担う任にあらざることを恐れる身ではありませんが、備龍会OBの皆様はじめ、教区内の皆様にかかれましては何卒倍旧のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

#### 第26代執行部

- 会長 石川 知全 (沼隈西組正圓寺)
- 副会長・研修部部长 金岡 恒宣 (御調東組金剛寺)
- 副会長・広報部部长 枝廣 慶樹 (深津組崇興寺)
- 副会長・交流活動推進部部长 季平 祐也 (沼隈南組光照寺)
- 事務局 枝廣 大智 (深津組崇興寺)
- 会 計 藤原 慧尋 (沼隈西組善性寺)



#### 敬 弔

お悔やみ申し上げます

#### 【敬称略】

- 御調東組 無量寺 住職
- 御調西組 光徳寺 前坊守
- 神石組 法泉寺 前住職
- 三次組 常順寺 前坊守
- 世羅組 専光寺 衆徒
- 比婆組 妙延寺 前住職
- 芦田組 妙泉寺 衆徒
- 比婆組 光善寺 前々坊守
- 三次組 大願寺 住職
- 世羅組 圓超寺 前住職
- 鴨川組 福泉寺 前住職
- 御調西組 浄念寺 前坊守
- 渡邊 フサ (9月30日寂)
- 深水 昭善 (1月13日寂)
- 藤田 尊子 (2月5日寂)
- 川上 順明 (2月12日寂)
- 高樋 三枝子 (4月2日寂)
- 三輪 是嗣 (4月13日寂)
- 尾野 義宗 (4月17日寂)
- 金岡 康隆 (5月31日寂)
- 福岡 典子 (6月19日寂)
- 還来地 賢成 (8月14日寂)
- 法正 良映 (9月22日寂)
- 児玉 雄嗣 (9月24日寂)

# 備後教区 僧侶研修会

2024(令和6)年 2月13日(火)

会場 御調東組 照源寺

## 令和5年度 備後教区 得度講習会・得度考査

とき 2024(令和6)年  
講習会 3月13日(水)~14日(木)  
得度考査 15日(金)

ところ 本願寺備後教堂

- 講習会受講料 20,000円(※2日間の昼食ふくむ)
- 考査冥加金 7,500円

※講習会受講並びに考査受験を予定されます方は、一度備後教区教務所までお問い合わせください。

### 常例法座

(毎月11日)  
出講者(敬称略)

12月	「これが私の生きる道」 福山市 崇興寺 枝廣慶樹
1月	「今ここに至りとういてゐる救い」 神石高原町 法泉寺 川上順之
2月	「悲しみを知る悲しみ」 笠岡市 蓮乗寺 田井智彦
3月	「今、ここでの救い」 高梁市 浄福寺 山下瑞円

### 備後教堂 休館日

下記の期間、教務所の業務を休みます。

12月28日(木) 午後~  
1月 8日(月)

死亡届は各組組長を通して  
本山にお届けください。  
宗務開始日は9日からです。

### ● 人事について

令和5年4月1日付の人事異動で、4年にわたり備後教区教務所に勤務された窪田滋弘が京都教区教務所に異動されました。ありがとうございます。

### ● 新入職員 挨拶



初めまして。9月より備後教区に参りました、兵庫教区姫路東組願正寺衆徒へ谷川龍寿と申します。趣味はドライブとツーリングです。

高校まで野球部に所属していたので、スポーツも好きです。これから、備後教区の発展に尽力していきます。まだまだ分からないこともあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 編集後記

「早いもので、もう一年ですね」

そんな挨拶をしながら、在家報恩講にお参りしていると、時の流れを否応なく感じます。とはいえ、あつという間に感じたとしても、一年間色々なことがありました。▲春の本山慶讃法要では、「中止はすぐにも出来るが、反対(実行)は出来ない」と組団参を準備

したものの、いざ京都に到着したらマスク無しの外国人観光客の多さに驚いたものでした。夏は心配ばかりしていても何もできないので「計画の段階ではコロナの影響は全く無いものと考えて予定しましょう」と言って地域やお寺の活動を行い、秋になると「数年ぶりに」とか「限定的でなく完全再開」した行事やイベントが目白押し……▲さすがに行事が多すぎる、と悲鳴をあげていたのは私だけではないはずだ。「元に戻ったというより、以前より大変になった」「コロナのときが楽だった」「5類になってから保険も食料も貰えません」まるでコロナが良かったとも言いたいかのような声が巷では溢れている▲今回の教区報では、ほぼ一年の活動を掲載することになったので、合併号としてページ数を増やした形で送ることとなった。行事も多いし、充分に内容を紹介しきれないものもある。この中には数年かけて熟考した想いや準備した内容も含まれているだろう。行事を消化するように追われていた己が心を反省して編集後記にしたい。(K.F)